

2016年2月期 2Q決算説明会

2015年10月7日

株式会社東京個別指導学院
(東証1部 4745)

「やればできるという自信」
「チャレンジする喜び」
「夢を持つ事の大切さ」

2015年8月、おかげさまで創業より30周年を迎えました。
これまで支えていただきました皆様に厚く御礼申し上げます。

多くの生徒、講師との関わりのなかで成長してまいりました。
将来に渡り、持続的に成長し、社会的企業価値の向上に
努めてまいります。

延べ生徒数

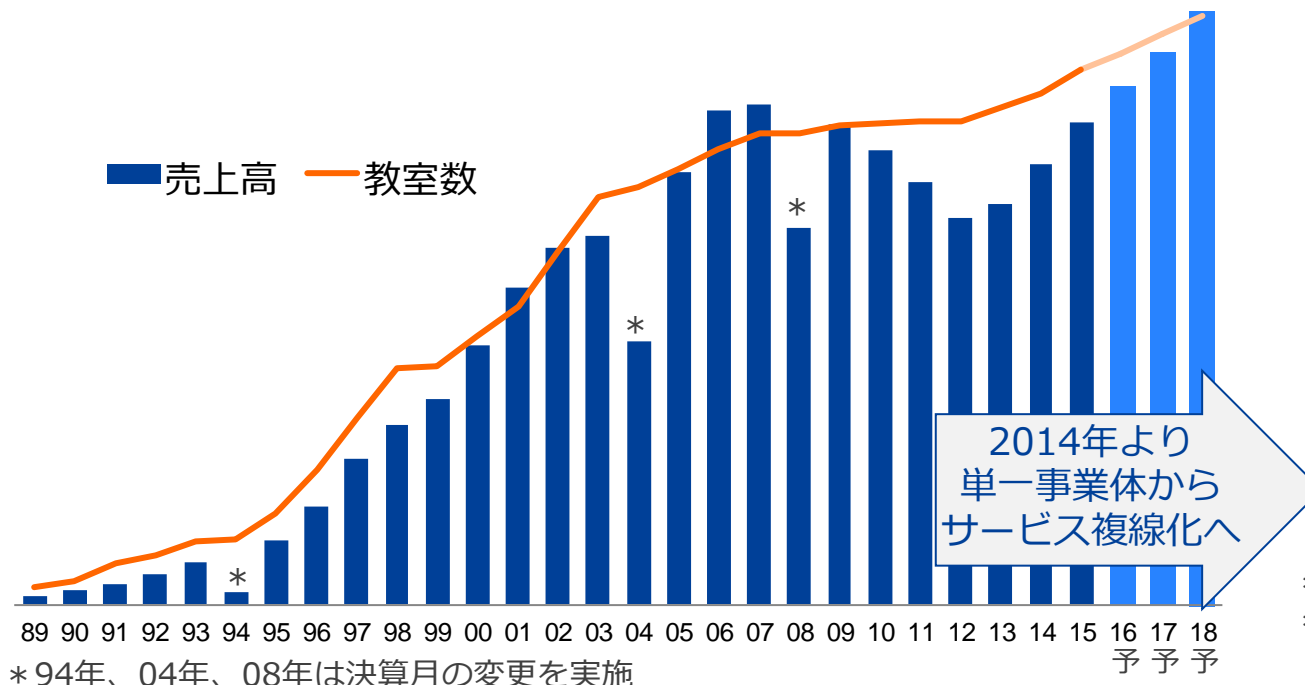
30万人以上

* 1

延べ講師数

約6.6万人

* 2



* 1) 創業以来の入会者数累計
* 2) 創業以来の登録者数

1. 2016年2月期2Q業績および2016年2月期予想
2. 2016年2月期2Qハイライト
3. 「Dynamic Challenge 2017」の概要と進捗

1. 2016年2月期2Q業績および2016年2月期予想

4期連続上方修正

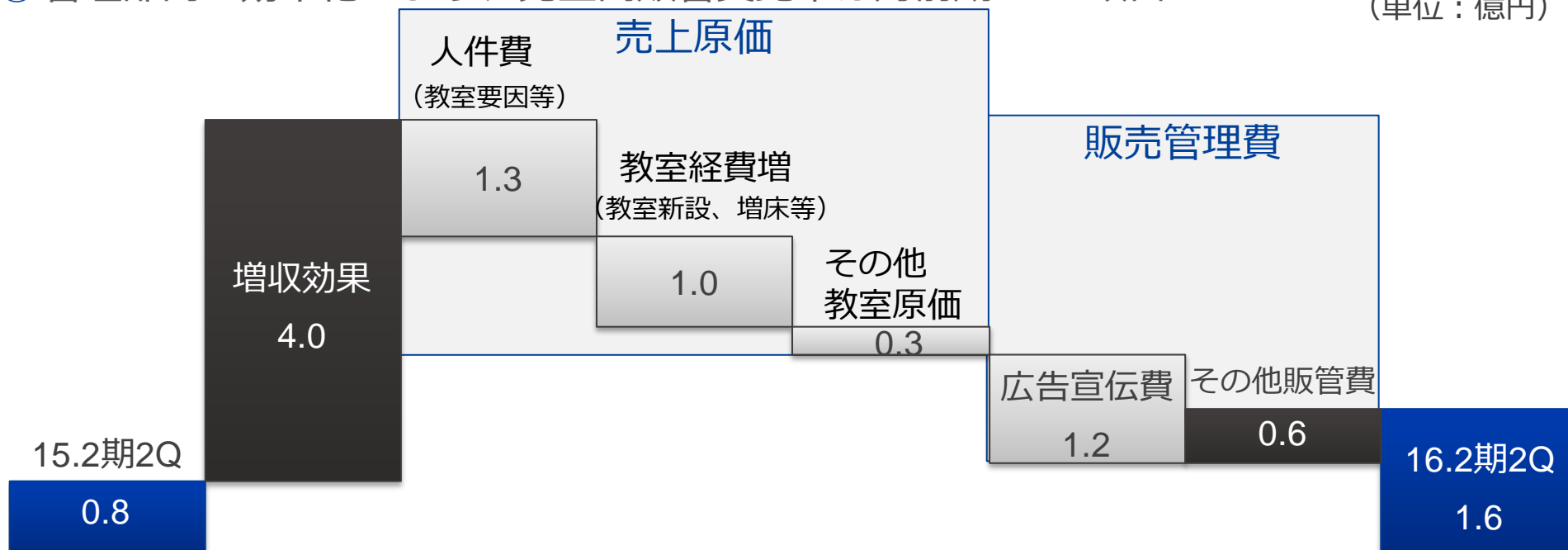
■対計画	売上高	+113百万円、101.5%
	営業利益	+ 77百万円、193.6%
■対前期	売上高	+552百万円、107.5%
	営業利益	+ 78百万円、196.3%

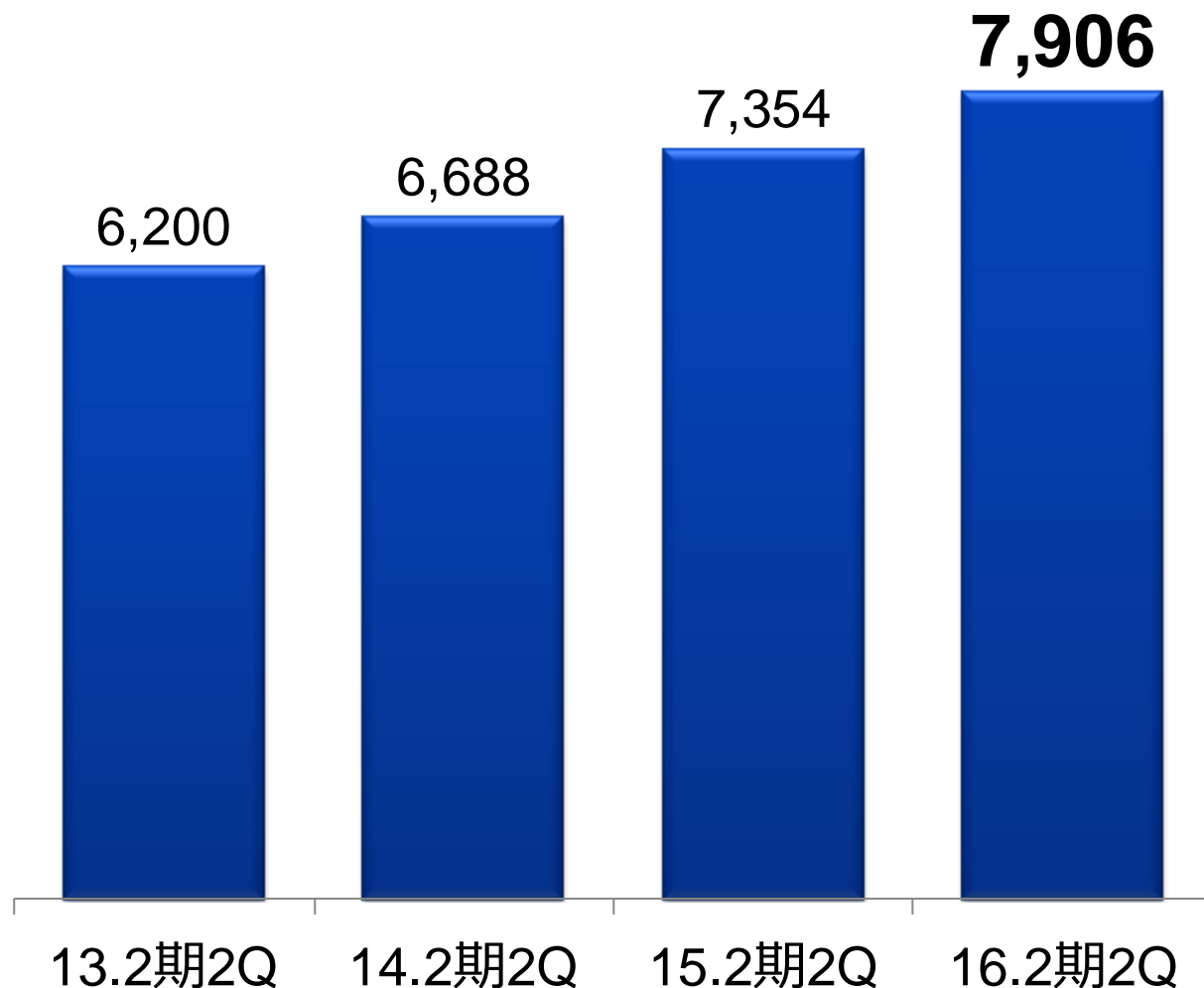
- 問合せ数・入会者数ともに過去最高を更新（入会者数＜対前期＞111.2%）
- 8月末在籍生徒数も過去最高を更新（8月末在籍生徒数＜対前期＞107.5%）
- 夏期講習会の好調
- 今期教室開校目標6教室に対し、2Qまでに5教室を開校
- クロスメディア戦略やドミナント戦略によるマーケティングコストの効率化・一般費削減

増収・コスト抑制により1Q先行投資分を吸収し、計画を上回る着地

- ① 入会者数・在籍生徒数増、夏期講習会売上の大幅増加による増収による増益
- ② 新規開校・リニューアルによる教室費用、新規開校・新規事業による人件費増は計画どおりの水準
- ③ 販売強化による広告宣伝費増も計画どおりの水準
- ④ 管理部門の効率化により、売上高販管費比率は対前期1.7%改善

(単位：億円)



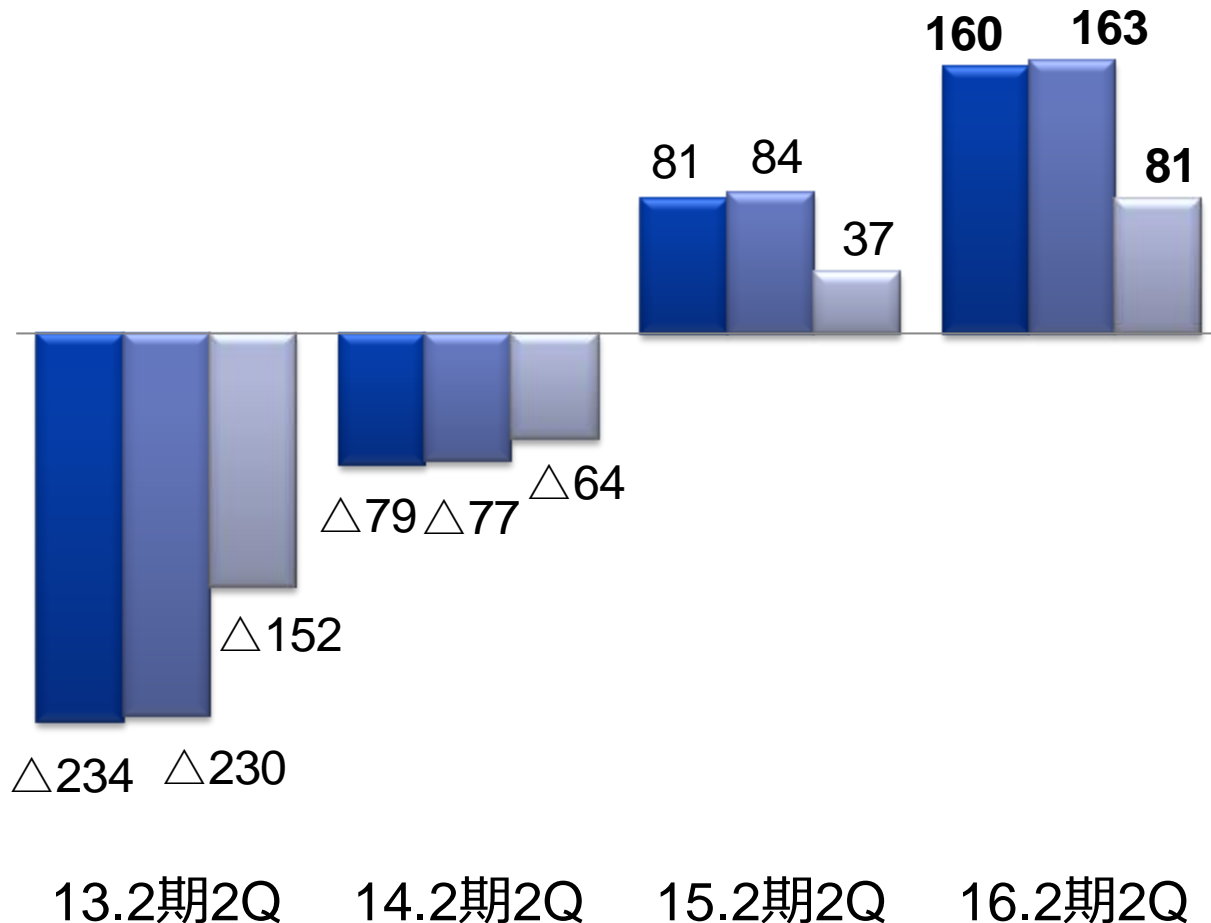


前期比

7.5%増

4期連続増収

■ 営業利益 ■ 経常利益 ■ 四半期純利益



利益は前期の

約**2**倍

4期連続増益

(百万円)

	15.2期2Q 実績	16.2期2Q 実績	差額	増減率	16.2期2Q 期初予想	差額	達成率
売上高	7,354	7,906	552	7.5%	7,793	113	101.5%
売上原価	4,617	5,029	412	8.9%			
売上原価率	62.8%	63.6%					
売上総利益	2,737	2,877	139	5.1%			
売上総利益率	37.2%	36.4%					
販管費	2,655	2,716	60	2.3%			
売上高販管費比率	36.1%	34.4%					
営業利益	81	160	78	96.3%	82	77	193.6%
売上高営業利益率	1.1%	2.0%					
経常利益	84	163	78	93.0%	84	78	192.5%
売上高経常利益率	1.2%	2.1%					
当期純利益	37	81	43	115.4%	63	17	128.2%
売上高純利益率	0.5%	1.0%					

(百万円)

	15.2期末	16.2期2Q末	差額
流動資産	7,829	7,188	△640
固定資産	2,068	2,170	101
流動負債	2,223	1,826	△396
固定負債	18	11	△6
純資産	7,656	7,520	△136
資産合計	9,898	9,358	△539

	15.2期2Q	16.2期2Q	差額
営業活動によるCF	△1,481	△1,857	△376
投資活動によるCF	△3,217	181	3,399
財務活動によるCF	△163	△217	△54
現金及び現金同等物の増減額	△4,862	△1,893	2,969
現金及び現金同等物の期首残高	6,490	3,136	△3,353
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,627	1,243	△384

2016年2月期通期業績予想

(百万円)

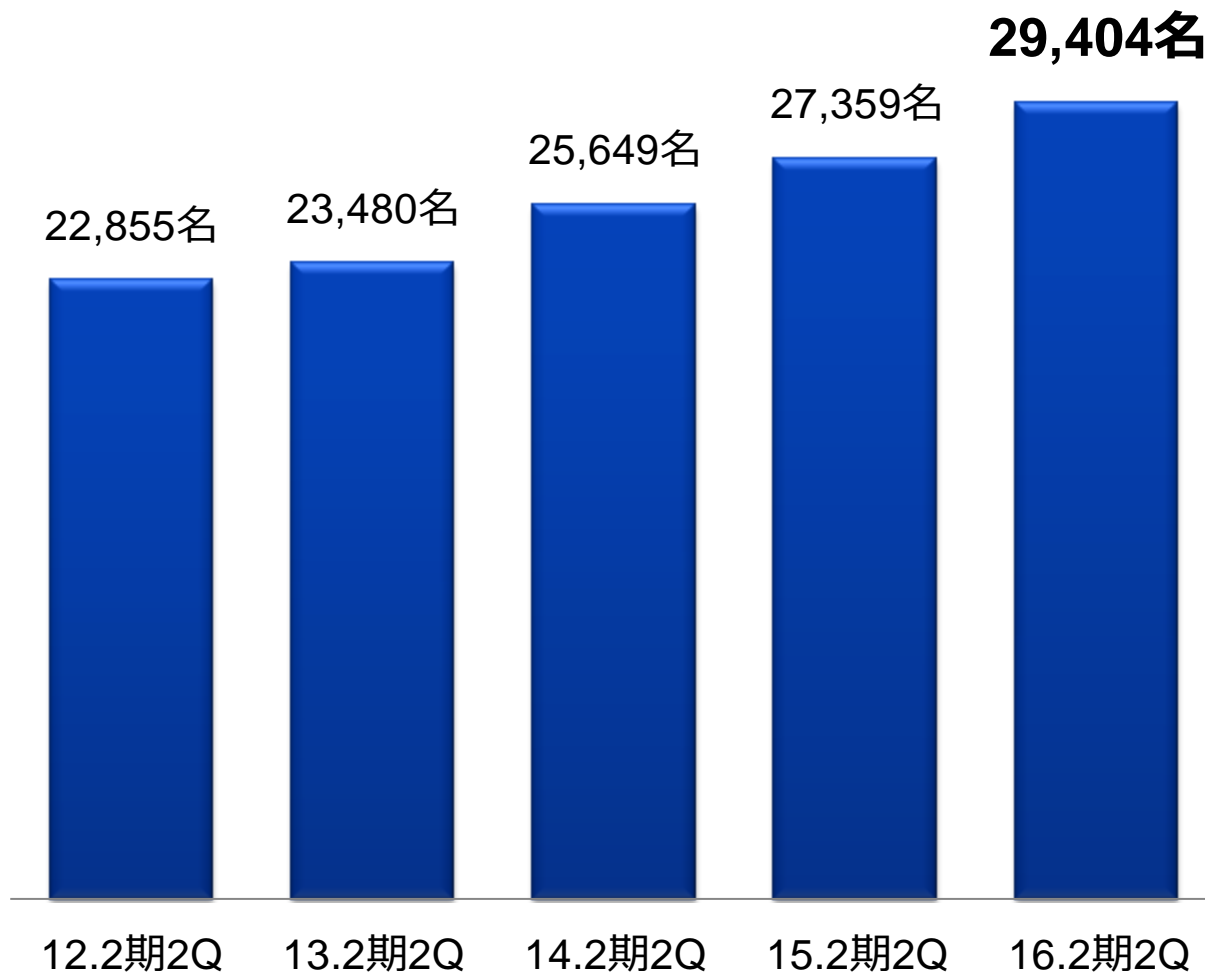
	16.2期予想	前期差額	前期増減率	15.2期実績
売上高	16,900	1,182	7.5%	15,717
営業利益	2,300	575	33.4%	1,724
売上高営業利益率	13.6%	2.6%		11.0%
経常利益	2,304	574	33.2%	1,729
売上高経常利益率	13.6%	2.6%		11.0%
当期純利益	1,397	321	29.9%	1,075
売上高当期純利益率	8.3%	1.4%		6.8%

中長期的な成長の継続を見越し、株主還元を強化 中間配当金は1株当たり4円の記念配当を含む12円の配当

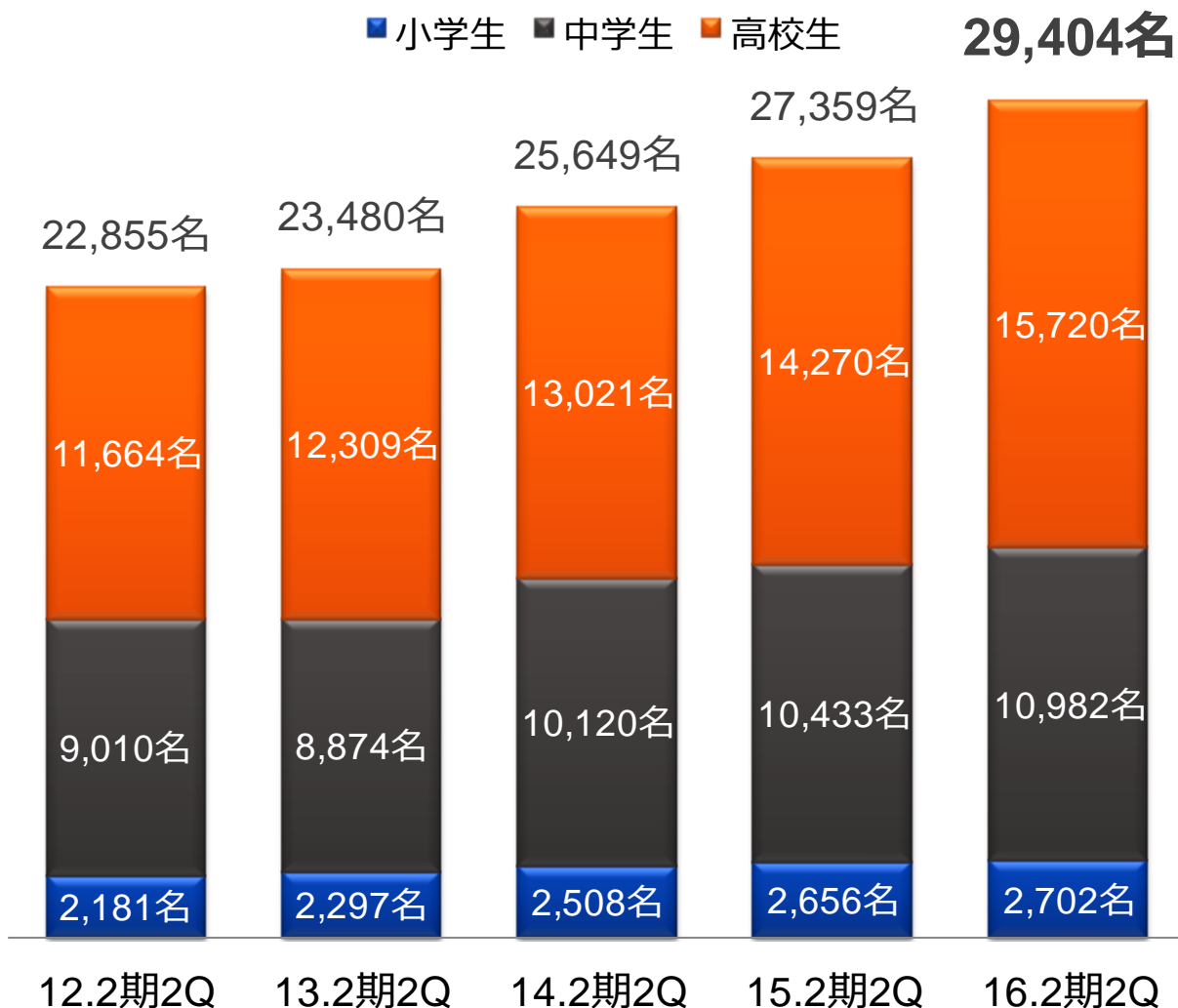
1株当たりの 年間配当金	第29期 2011年3月1日 ～ 2012年2月29日	第30期 2012年3月1日 ～ 2013年2月28日	第31期 2013年3月1日 ～ 2014年2月28日	第32期 2014年3月1日 ～ 2015年2月28日	第33期 2015年3月1日 ～ 2016年2月29日 ※年間8円の 記念配当を実施
中間配当金	3円	3円	3円	4円	12円 普通配当8円+記念配当4円
期末配当金	3円	3円	3円	4円	12円* ¹ 普通配当8円+記念配当4円
年間配当金	6円	6円	6円	8円	24円* ¹ 普通配当16円+記念配当8円
配当性向	245.4%	90.9%	44.1%	40.4%	93.3%* ¹

* 1)2015年10月7日発表の予想値です。

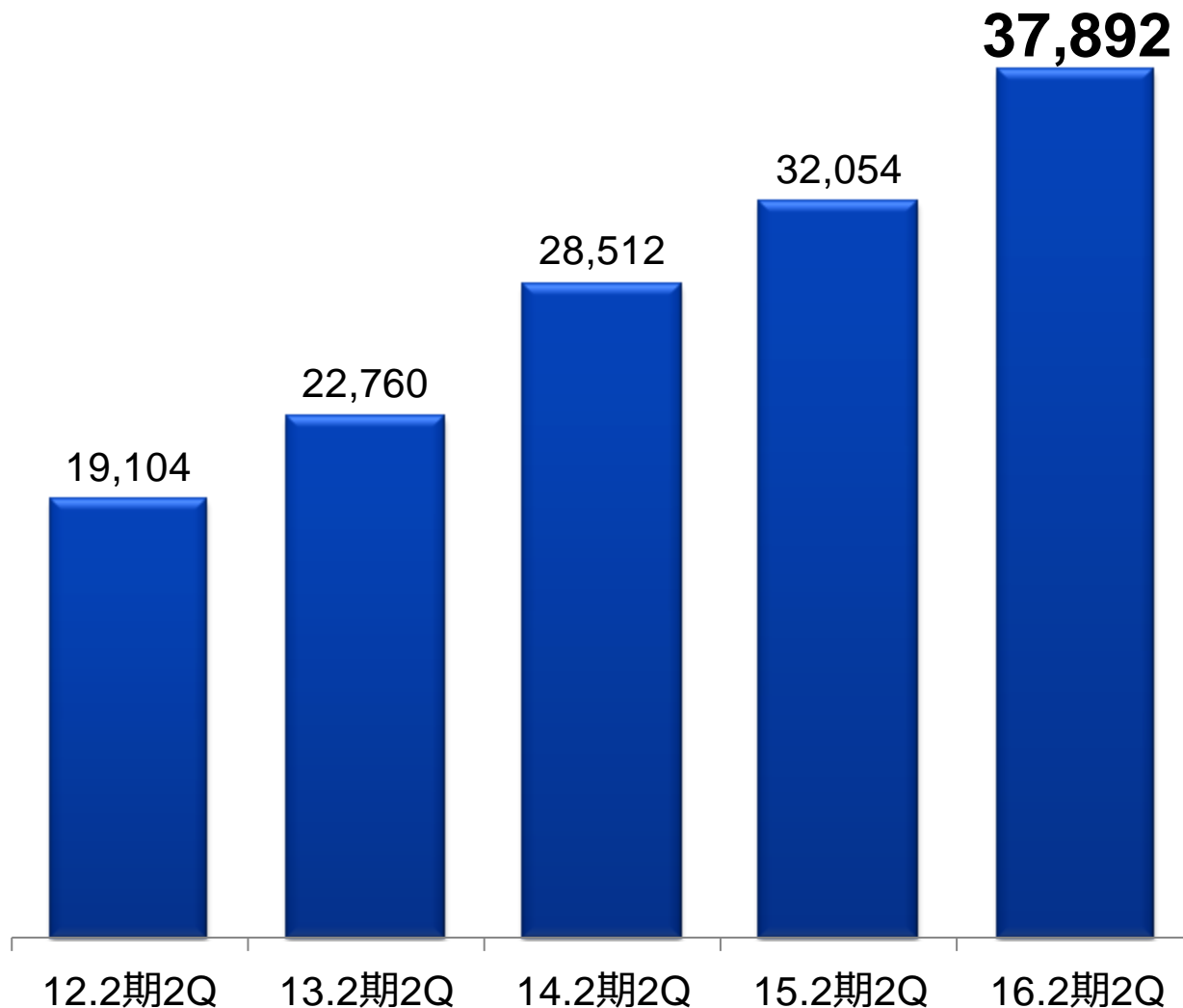
2. 2016年2月期2Qハイライト



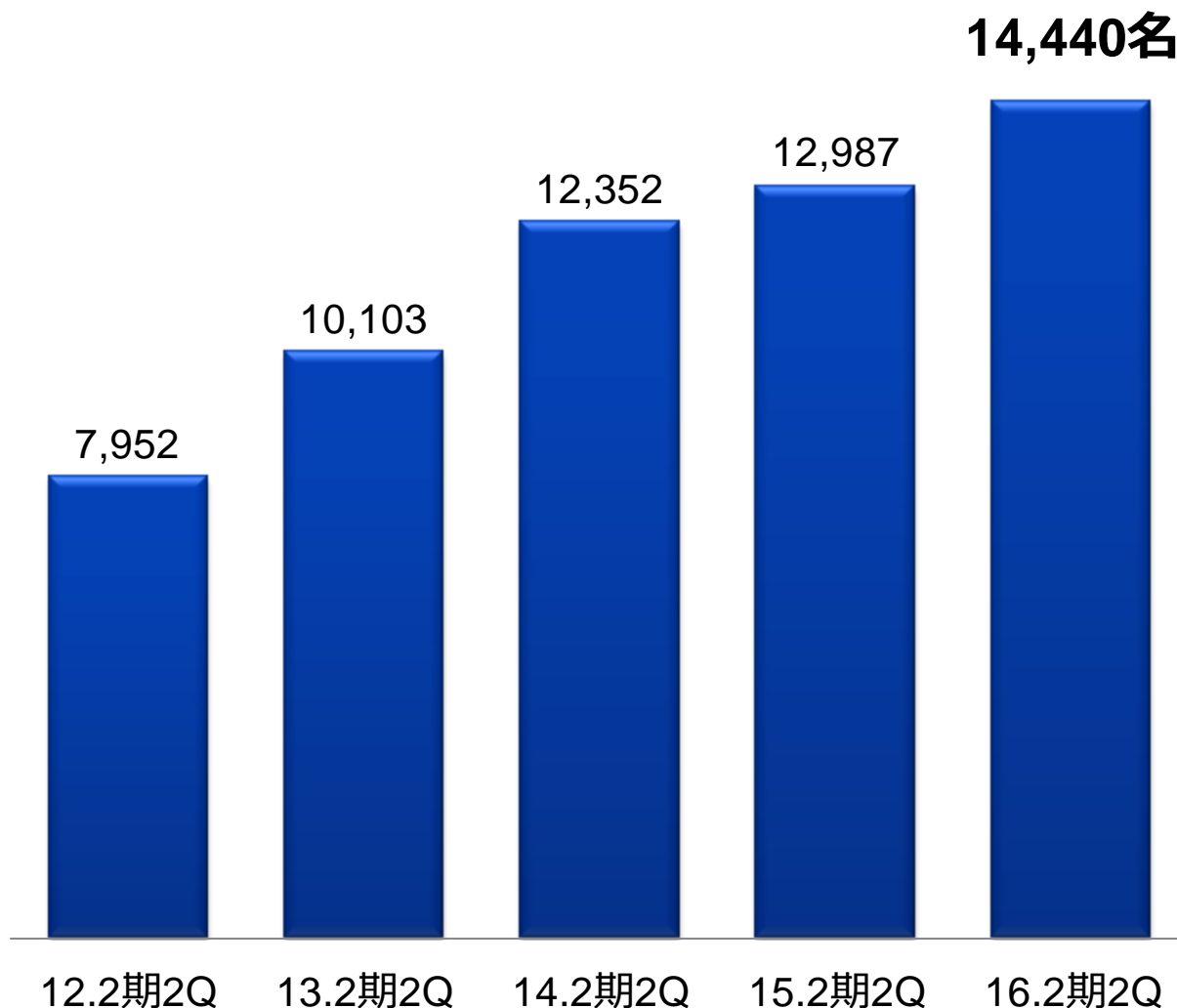
2Q期末在籍生徒数
過去最高を達成



全学年の生徒数が
増加



マーケティングにおける
クロスメディア戦略の
奏功により
16.2期2Qは
過去最高

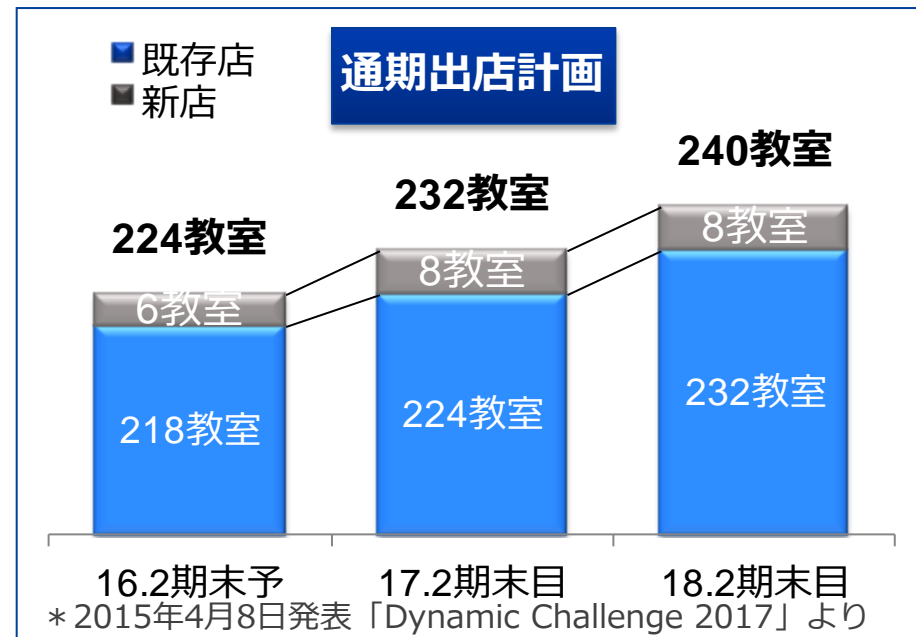


問合せ好調により

16.2期2Qは
過去最高

通期で6教室の計画に対し、2Qまでに5教室+クラスベネッセ1教室を開校

教室名 (開校日)	アクセス	教室名 (開校日)	アクセス
川崎西口教室 (3月19日)	川崎市幸区 川崎駅、 京急川崎駅	クラスベネッセ 石神井公園 (7月7日)	練馬区石神井町 石神井公園駅
津田沼南口教室 (6月1日)	習志野市谷津 津田沼駅、 新津田沼駅、 京成津田沼駅	3Q以降の開校 (予定を含む)	
吉祥寺本町教室 (6月8日)	武蔵野市吉祥寺 本町 吉祥寺駅		
仙川教室 (6月11日)	調布市仙川町 仙川駅		
石神井公園教室 (6月26日)	練馬区石神井町 石神井公園駅	武蔵境教室 (9月10日)	武蔵野市境 武蔵境駅
		調布北口教室 (10月10日予)	調布市布田 調布駅

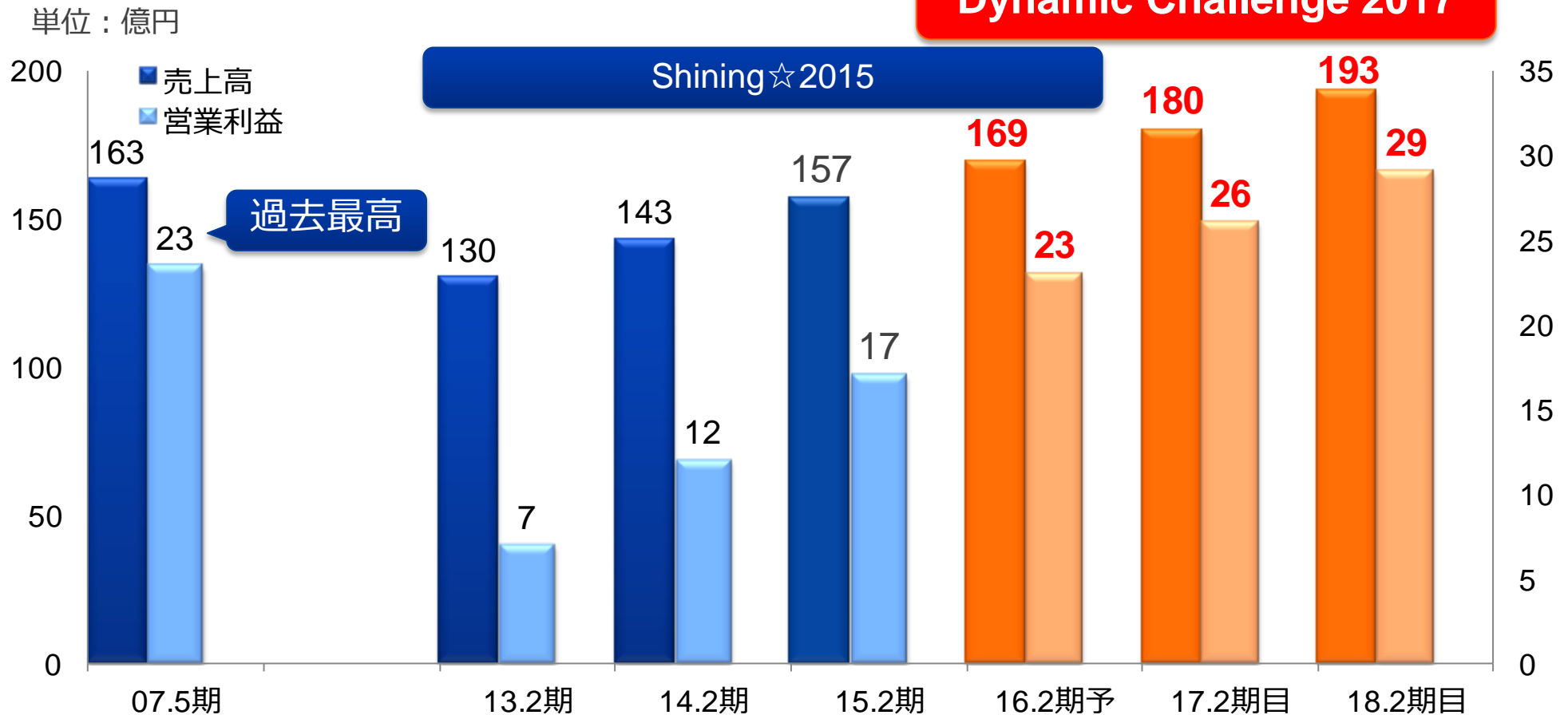


3. 「Dynamic Challenge 2017」の概要と進捗

持続的な成長回路の実現

配当性向は今後50%以上を目標とする

Dynamic Challenge 2017



Dynamic Challenge 2017

持続的な成長による社会的企業価値の向上

成長戦略

ドミナント
×
サービス
ポートフォリオ

成長戦略

教育力の強化

成長戦略

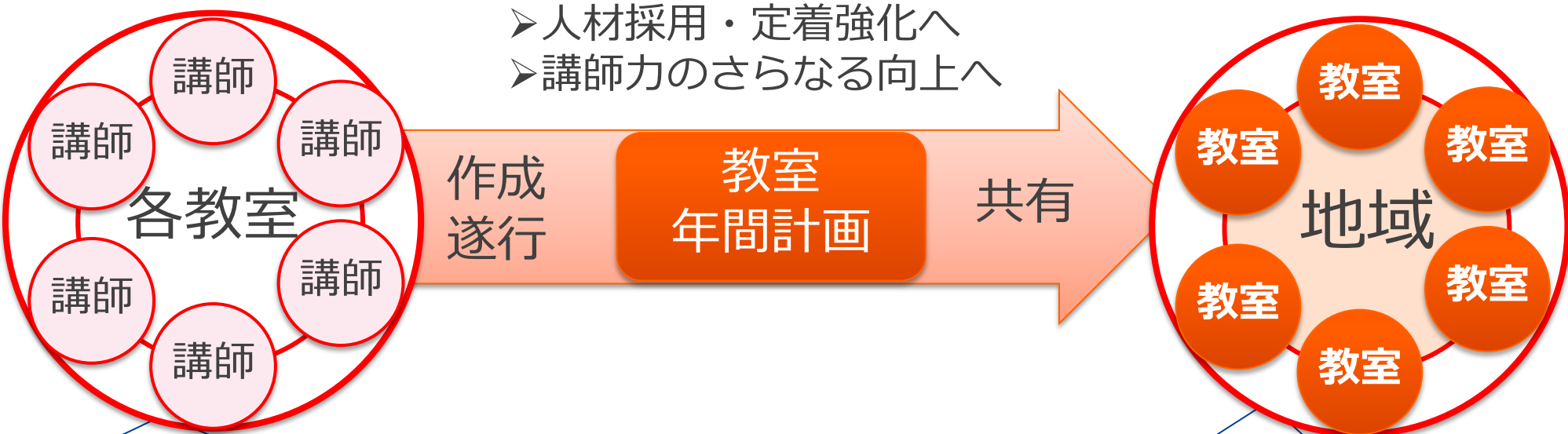
ベネッセ連携
付加価値向上

経営基盤の強化・効率化

関西圏で成果を上げた講師研修体系を全国展開へ

- 教室の年間運営のPDCAを講師自ら回すことによって教務力向上・意欲向上

- 人材採用・定着強化へ
- 講師力のさらなる向上へ



- 他講師とのコミュニケーションを通じ、教室固有の課題を検討
- 講師間・教室間・地域間の気づきと学び、ノウハウの顕在化

- 講師による、自発的な他教室見学
- 直営ならでの横展開

ニーズの高い地域への集中出店によるブランド浸透

■販売費の増加を抑制しつつ、地域毎のシェアを拡大

例 川崎西口教室（2015年3月開校）

2015年8月末生徒数伸長率 <対前期>

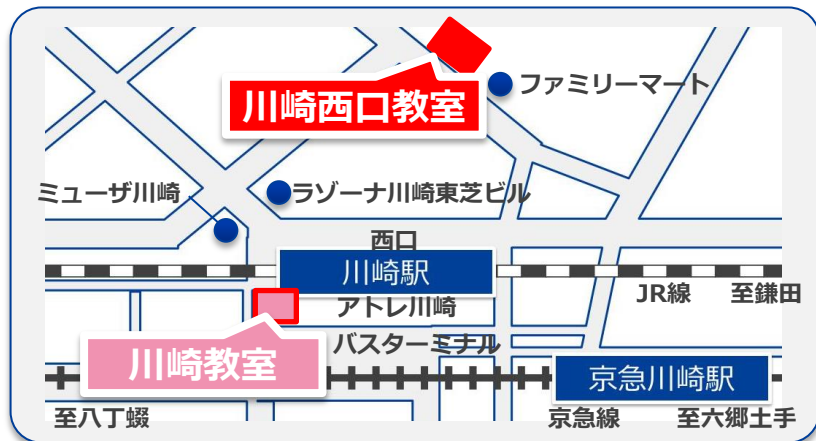
[背景]

➤既存の川崎教室は、1998年2月開校
川崎駅東口に位置し、生徒数が拡大

■川崎教室（既存） 110.1%

■川崎2教室合計 129.1%

■全223教室 107.5%



今後につながる付加価値向上のトライアル実施

■グループ内資産を有効活用

進研ゼミ現中3・高3会員向けDMでの
当社情報の紹介

▶グループ一体での受験生支援

2020年入試制度改革を
見据えたベルリッツとの
協業トライアル開始

▶個別指導教室でベルリッツ講師
による夏期集中リスニング・
スピーキングレッスン

17.2期以降の持続的成長に向けた戦略的投資の積極化

■新規出店・リニューアル投資

- 積極的な新規出店
- 移転・リニューアル（増床含む）
- 教室増に伴う中途社員採用・講師採用増
- Benesse 文章表現教室を拡大検討へ

■教育力の強化

- 講師力育成
 - 教室年間計画を全教室で稼働
- 進路指導・受験指導の早期化・強化
- 2020年教育改革に向けた検討

■その他

- クロスメディアによる認知浸透の加速化
- PRの強化
 - マス媒体での経営者発信の地道な積み重ね

堅調な業績と財務基盤の安定化を踏まえ、
株主還元と持続的成長の両立を目指す

株主還元

2016年2月期以降
『配当性向**50%**以上』
を目標にする

成長投資

一層の事業成長を
加速させるため
M&Aを検討

「Dynamic Challenge 2017」の目標値

	15.2期	Dynamic Challenge 2017		
		16.2期予想	17.2期目標値	18.2期目標値
売上高	157億円	169億円	180億円以上	193億円以上
営業利益	17億円	23億円	26億円以上	29億円以上
営業利益率	11.0%	13.6%	14.4%以上	15.0%以上
配当性向	40.4%	93.3%	50%以上	50%以上
年間一株配当額	8円	24円 普通配当16円+記念配当8円	—	—
		* 今後の業績推移と投資戦略を勘案しながら決定してまいります。		
テーマ		持続的 成長	戦略的投資	経営効率の 向上

本日はご清聴ありがとうございました。

【ご注意事項】

本資料には、戦略や見通しなど将来の業績に関する記述が含まれております。これらは現時点における当社の判断に基づくものであり、リスクや不確実性を含んでいます。経営環境の変化など様々な要因により、変更されることがあります。

【IRに関するお問い合わせ先】

広報・IR室 Tel : 03-6911-3216

E-mail : ir@tkg-jp.com